

# なすしおぼら ボランティアセンター情報誌

令和5年3月20日号

## 収集ボランティア活動で支援を続ける高校生



▲アジア学院へ使用済み切手などを届けました

2月24日（金）、那須塩原市高校生ボランティアグループ「とんぼの会」の3年生2名が、グループを代表して、1年間の収集ボランティア活動で集まった収集物を、アジア学院と国際医療福祉大学ボランティアセンターへ届けました。

アジア学院へは、使用済み切手や書き損じはがき、外貨など、国際医療福祉大学ボランティアセンターへは、ベルマークを届けました。

「とんぼの会」は、年間を通して収集ボランティア活動をしており、集まった収集物を各団体等へ届ける支援活動を行っています。

（関連記事6ページ）



▲国際医療福祉大学ボランティアセンターへベルマークを届けました

# ボランティアが点字版ごみ出しカレンダー作成

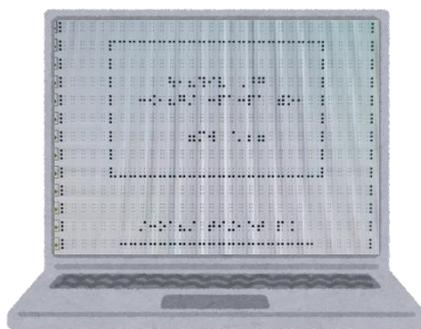
毎年、那須塩原市では、点訳サークル「でこぼこ」の協力を得て、点字版のごみ出しカレンダーを作成しています。「でこぼこ」は、毎週金曜日、那須塩原市図書館みるで、点字・点訳勉強会を行うなどの活動をしているボランティア団体です。この点字版ごみカレンダーの作成は、毎週の活動時に、点訳編集ソフトを使ってデータをパソコンに入力し、その後、点字プリンターで点字用紙に打ち出しをして製本しています。今年度は、1月23日（月）と27日（金）の2日に分けて打ち出し作業を行い、60部のカレンダーを完成させました。これらのカレンダーは、那須塩原市廃棄物対策課が、点字版が必要な視覚障害者に配付しています。



▲打ち合わせ風景



▲点訳サークル「でこぼこ」の皆さん



↑なんて書いてあるのかな？  
答えは・・・  
「令和5年度  
ごみ収集カレンダー  
(A地区)」です！



↑これは、なにかかな？  
答えは・・・  
「点字プリンター」です！



## 音訳ボランティアが集い情報交換

2月8日（水）、那須塩原市内で活動する音訳ボランティア3グループの代表らが、ボランティアセンターに集い、3年ぶりとなる会議を開きました。コロナ禍での各グループの作業状況や問題点、活動についての情報交換が行われ、今後に向けた話し合いも行われました。

また、コロナ禍においても、各グループともに、様々な工夫を凝らした活動を行ってきました。広報などを音訳する他に、書物を朗読したり、リスナーのインタビューを録音したCDを作成したり、新たな会員が入会し育成に力を入れるなど、精力的に活動してきました。交流会の開催についても、前向きな意見が出ていました。



▲音訳ボランティアの皆さん

左から「かっこうの会」「のびる会」「くさのみ」

# 食品ロス削減を考える講演会開かれる ～もったいないを考える機会に～

1月24日（火）、いきいきふれあいセンターの多目的ホールで、「那須塩原市生活学校」による講演会「那須塩原市生活学校フォーラム・みんなでごみを減らそう！～食品ロスの減量を考えてみませんか～」が開催されました。

講演会は3部制となっており、1部は、那須塩原市役所廃棄物対策課の野嶋氏による「那須塩原市のごみ処理の現状について」と題した講演がありました。2部は、「食品ロスの減量について、私の実践」という生活学校会員3名による発表がありました。実践の内容は、「思いつきの買い物はしない」「献立を考える」「通常だと棄ててしまうリンゴの皮と芯はお酢につけて『リンゴ酢』にする」など、興味深い話がたくさんありました。最後には、「くろいそエコクラブ」による劇がありました。物資過剰な現代だからこそ、必要なものを必要なだけ購入しようという生活の見直しについて深く考えさせられる内容でした。



▲那須塩原市生活学校会長大内氏による開会の挨拶



▲那須塩原市役所廃棄物対策課野嶋氏による講演。発火性危険ごみや割れたびんなどの危険物の扱い方について説明。特にリチウムイオン電池は、ごみ処理において衝撃が加わると発火する危険性があるため、適切な分別が必要という内容。



▲3名の会員が「食品ロスの減量について」実践報告



▲くろいそエコクラブ（劇団）による生活の見直しをテーマにした寸劇【もったいないばあさんがくるよ】

# 福祉体験学習ボランティアを養成

那須塩原市社会福祉協議会では、市内の小中学校などからの依頼を受け、福祉体験学習を行なっています。今回は、その中の、車いす体験と高齢者疑似体験を指導するボランティア（サポートみらい）を養成するための講座を、2月15日（水）と22日（水）の全2回コースで開催しました。

初回は、社協職員がボランティアについての講話を行い、ボランティア活動の特徴や心得などについて学びました。その後、「サポートみらい」代表の江連広土さんが講師を務め、会員も協力しながら、車いす体験についての講義と実技を行い、2回目は、高齢者疑似体験についての講義と実技を行いました。最後には、「サポートみらい」の活動紹介など行いました。今回講座に参加した4名が、新たに「サポートみらい」に入会し、これから共に活動していくことになりました。



## 産前からの切れ目のない支援を目指して

NPO法人「子育てほっとねっと」が、2日間にわたり映画上映会を開催しました。上映した「ママをやめてもいいですか!？」は、子育てに奮闘する家族の笑って泣けて共感できるドキュメンタリー映画です。

2月25日（土）は、厚崎公民館にて「和室でわいわいにぎやかに鑑賞の回」として開催しました。家族連れや小さなお子さんを連れての参加が可能で、家族一緒に楽しく映画を鑑賞して過ごしました。

2月26日（日）は、いきいきふれあいセンターの多目的ホールで「階段席でゆっくり静かに鑑賞の回」として開催しました。上映会終了後には、今後に向けたネットワークづくりを目的としてシェア会が行われ、4グループに分かれて感想などを分かち合いました。参加者からは、「映画に共感できた」、「ほっとねっとの活動を知ってもらい、支援される人、支援する人が増えるといい」などの声がありました。



理事長の西田由記子さんは、「今年度は、『産前からの切れ目のない支援、妊娠中から地域とつながりがもてるように』をテーマに、プレパパやプレママ支援に力を入れて活動してきた。今後も、さらにほっとねっとの子育て支援を知ってもらい、子育てはひとりじゃないということを伝える活動をしていきたい」と話しました。





# NPO 法人「子育てほっとねっと」はこんなことをしている団体です

～地域において地域の人の手による子育て支援と子育てのネットワークづくり～

## 那須塩原市ファミリーサポートセンターの運営



地域みんなで支えあって子育てしていくことを目的にした会員組織です。子どもの預かりや送迎を希望する利用会員と研修を受けたサポート会員を、ファミリーサポートセンターがつなぎます。(市の委託を受けて運営しています)  
那須塩原市上厚崎 500-1 (厚崎公民館) ☎0287-74-6252

## つどいの広場の運営

つどいの広場は、未就学子ども達とその家族のための居場所です。いつ来ていつ帰ってもOKです。毎月「赤ちゃんの日」や子育て講座なども開いています。(市の委託を受けて運営しています)

### つどいの広場 ま〜る

4/1〜

平日 9時半〜12時、13時〜15時半

第1・3土曜日 9時半〜11時半

☎0287-36-6840

住所：南郷屋 2-145-10

### つどいの広場 ほっぺ

平日 10時〜15時半

第4土曜日 10時〜13時

☎0287-73-8648

住所：方京 3-15-9 N.S.T.Kビル 2階

## 集団託児・保育事業

講演会、コンサート、サークル活動、イベントなどの時にお子さんをお預かりします。「預けてよかった」と思っただけのような託児を心がけています。☎090-9230-8755

形を変えて再始動！！

こども食堂からみんなの居場所へ

## 「みんなのテーブル2」

月1回(土曜)

リサイクル市

こどもの遊びコーナー

工作コーナーなど

日時や会場はインスタグラムでご確認ください。

☎090-9230-8755



KOSODATE\_HOTNET

## 家庭訪問型子育て支援「ホームスタート」

親の気持ちに寄り添う支援です。妊娠中や6歳以下の未就学児のいる家庭に、研修を受けた地域の先輩ママボランティア“ホームビジター”が訪問し、ママの話を聞いたり、一緒に家事をしたり、子どもと遊んだりします。(利用料無料)

☎080-5979-5417

一緒にいるね



【お問い合わせ】

NPO 法人「子育てほっとねっと」

電話：090-9230-8755

メール：hotnet@tbz.t-com.ne.jp



▲ホームページ

地域共生社会振興基金寄付者

そすいの郷直売センター  
ふるさとにしなす産直会

お食事処 平成

那須塩原管工事業協同組合

北関東環境開発株式会社



※地域共生社会振興基金とは、地域共生社会の実現のため、那須塩原市社会福祉協議会が設置している振興基金です。

# 収集物報告

皆さまからお預かりしました収集物を、以下のとおりお届けしましたのでご報告いたします。【令和4年3月～令和5年2月分】

○切手	3,637円分	○書き損じはがき	40円	8枚
○使用済み切手	3.0kg		41円	12枚
○収入印紙	4,405円分		50円	35枚
○未使用はがき	50円		52円	57枚
	120枚		62円	11枚
	84枚		63円	162枚
	48枚			
	59枚	○外貨		上記期間に預かった分

※これらは、アジア学院にお届けし、施設の運営や活動に役立てられています。

○ベルマーク 上記期間に預かった分

※これらは、国際医療福祉大学ボランティアセンターへお届けし、東日本大震災で被災した学校支援に役立てられています。



ご協力ありがとうございました

「とんぼの会」が行っている収集ボランティア活動は、那須塩原市社会福祉協議会（ボランティアセンター）が受入窓口となり、活動を支援しています。お預かりしたこれらの収集物\*は、仕分け作業を行い、福祉施設や団体等へお届けし、支援活動などに役立てられています。\*切手、使用済み切手、書き損じはがき、ベルマークなど  
【問い合わせ】那須塩原市社会福祉協議会 ボランティアセンター TEL：0287-47-6700

## 《令和5年度ボランティア活動保険のお知らせ》

### ◆ボランティア活動保険の対象となるボランティア活動

日本国内における、自発的な意思により他人や社会に貢献する無償のボランティア活動で  
**ボランティアセンターに登録されている団体または人（個人）の活動が補償の対象となります。**

### ◆補償期間 → 加入手続き完了日の翌日午前0時から令和5年3月31日午後12時まで

		基本プラン	天災・地震補償プラン	特定感染症重点プラン
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円		
	後遺障害保険金	1,040万円（限度額）		
	入院保険金日額	6,500円		
	手術 保険金	入院中の手術	65,000円	
		通院中の手術	32,500円	
	通院保険金日額	4,000円		
特定感染症	補償開始日から10日以内は補償対象外※		初日から補償	
地震・噴火・津波による死傷	×	○	○	
賠償の補償	賠償責任保険金（対人・対物共通）	5億円（限度額）		
	年間保険料	350円	500円	550円

※4月1日付で前年度から継続して加入する場合を除く

◆年度途中でボランティア活動保険に加入する場合には、「**特定感染症重点プラン**」をおすすめします。例えば、被災地での災害ボランティア活動や当初予定していなかったボランティア活動へ参加する場合など、**新型コロナウイルス感染症**をはじめとした特定感染症への備えとして、特定感染症重点プランに加入していただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

その他、ボランティア行事用保険、福祉サービス総合補償、送迎サービス補償について、保険料・補償金額ともに改定はありません。ボランティア活動保険等についてのお問い合わせは、お近くのボランティアセンターまでお願いいたします。

# 《令和5年度栃木県手話通訳者養成講習会の開催のお知らせ》

聴覚障害者の福祉に理解と熱意を有する者に対し、手話通訳に必要な知識及び技術の指導を行うことにより手話通訳者を養成し、聴覚障害者等の福祉の増進を図ることを目的として、手話通訳者養成講習会が開催されます。

**日 程** 【手話通訳Ⅰ】全36回

〔県北会場〕令和5年5月10日（水）開講 毎週水曜日 10時～12時  
那須塩原市健康長寿センター（主会場）那須塩原市南郷屋5-163

【手話通訳Ⅱ】全34回

〔県北会場〕令和5年5月10日（水）開講 毎週水曜日 13時～15時  
那須塩原市健康長寿センター（調整中）那須塩原市南郷屋5-163

※上記会場の他、県央、県南会場での開催あり。手話通訳Ⅲについては、県央会場のみ。

詳しくは、下記申込先までお問い合わせください。

**講習内容**（厚生労働省手話通訳者養成カリキュラムに準拠した内容）

- （1）手話通訳Ⅰ：対象の聴覚障害者の理解を確認しながら手話通訳ができる。
- （2）手話通訳Ⅱ：一部難しい内容は聴覚障害者の理解の確認が必要であるが、日常場面での手話通訳はできる。
- （3）手話通訳Ⅲ：様々な日常場面での手話通訳ができる。

**対象者** 栃木県在住で、通訳者として聞こえに支障がなく、将来、栃木県内で手話通訳者として活動する意志があり、次の要件に該当する方。

- （1）手話通訳Ⅰ：特定の聴覚障害と手話で日常会話ができる方
  - ① 手話奉仕員養成講習会（基礎課程）の修了者及び終了見込みの方
  - ② 全国手話検定試験2級以上の方

（2）手話通訳Ⅱ：令和4年度までの手話通訳Ⅰ（基本課程）の修了者

（3）手話通訳Ⅲ：令和4年度までの手話通訳Ⅱ（応用課程）の修了者

**入講試験** 申込者に対して選考試験を行い、受講の可否を決定する。

入講試験：【県央会場・県南会場・県北会場 合同】

日時 令和5年4月15日（土）9時30分～（通訳Ⅰ）

令和5年4月22日（土）9時30分～（通訳Ⅱ・通訳Ⅲ）

場所 とちぎ福祉プラザ（宇都宮市若草1-10-6）

**受講料** 無料（ただし、テキスト代は自己負担）

**定員** 各講座 25名（最少催行人数 10名）

**申込方法** 指定の申込書に必要事項を記入し、郵送、来所、FAXにより、とちぎ視聴覚障害者情報センターあてに申し込む。（最終終了課程の修了証・合格証のコピーを添付すること）

※申込書は、栃木県 HP 又は栃木県社会福祉協議会 HP からダウンロード可能。

**申込期間** 令和5年3月10日（金）～3月31日（金）必着

**申込先** とちぎ視聴覚障害者情報センター

〒320-8508 栃木県宇都宮市若草1-10-6

TEL：028-627-6889 FAX：028-627-6889



地域共生社会振興基金寄付者

一般社団法人  
那須塩原市建設業協会

有限会社三誠  
ほくのおはあちゃんにありがとうお舞式  
なすの斎場グループ

通ったりの物  
松屋  
クリーニングおおもり

那須野ヶ原  
ライオンズクラブ

※地域共生社会振興基金とは、地域共生社会の実現のため、那須塩原市社会福祉協議会が設置している振興基金です。

# 救援金募集のお知らせ

## 2023年トルコ・シリア地震救援金

受付期間 令和5年2月9日～令和5年5月31日

受付方法

① 救援金箱

- ・社会福祉協議会本所、黒磯支所、塩原支所
- ・市本庁、西那須野支所、箒根出張所

② 窓口受付

社会福祉協議会の本所及び各支所の窓口で受け付けています。

## ウクライナ人道危機救援金

受付は、令和5年3月31日までとじていましたが、令和6年3月31日まで延長になりました。

受付方法

① 救援金箱

- ・社会福祉協議会本所、黒磯支所、塩原支所

② 窓口受付

社会福祉協議会の本所及び各支所の窓口で受け付けています。

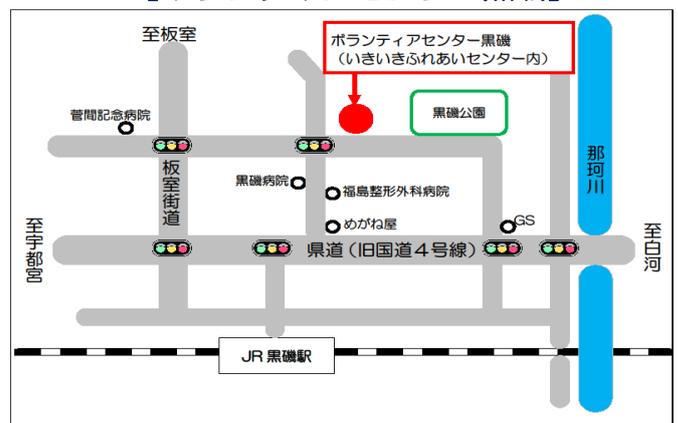
日本赤十字社では救援金を受け付けています。皆さまの温かいご支援をよろしくお願いいたします。

### 【ボランティアセンター本所】



住所：那須塩原市南郷屋5-163  
健康長寿センター内  
電話：0287-47-6700  
FAX：0287-47-6690  
Eメール：v.center@ns-shakyou.jp

### 【ボランティアセンター黒磯】



住所：那須塩原市桜町1-5  
いきいきふれあいセンター内  
電話：0287-73-0073  
FAX：0287-73-0073  
Eメール：k.vcenter@ns-shakyou.jp

### ボランティア活動実績

1月	イベント他	1件	4人	2月	イベント他	2件	6人
	傾聴	6件	6人		傾聴	3件	3人
福祉体験	0件	0人	福祉体験	0件	0人		
合計	7件	10人	合計	5件	9人		

### ボランティアセンター登録数 (2月28日現在)

団体	個人
105 団体 (非公開含む)	106 人



発行：社会福祉法人那須塩原市社会福祉協議会  
ボランティアセンター本所 TEL：0287-47-6700 FAX：0287-47-6690  
〒329-2705 那須塩原市南郷屋 5-163 (健康長寿センター内)  
Eメールアドレス：v.center@ns-shakyou.jp  
ホームページアドレス (URL) <http://ns-shakyou.jp/>  
★メール、FAX、お電話で皆さまの感想や情報をお寄せください。

